



第7期報告書

平成21年4月1日▶平成22年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675

平成22年6月29日

株主各位

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
サクサ ホールディングス株式会社
代表取締役社長 越川 雅生

第7回定時株主総会決議ご通知

拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本日開催の当社第7回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項
1. 第7期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第7期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 定款一部変更の件
本件は、原案どおり会社法施行規則、会社計算規則等の一部を改正する省令(平成21年法務省令第7号)の施行に伴い、現行定款第16条で引用する会社法施行規則の条数等を削除することが承認可決されました。
- 第2号議案 当社株式の大量取得行為に関する対応策(買取防衛策)導入(更新)の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 取締役7名選任の件
本件は、原案どおり越川雅生、大内正樹および村田直光の3氏が再任されたほか、新たに、松尾直樹、木村廣志、島田知行および竹松睦男の4氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

- 第4号議案 補欠監査役2名選任の件
本件は、原案どおり杉山正樹および清水建^{しみず たけなり}成の2氏が選任されました。
なお、杉山正樹氏は社外監査役猪鼻正彦氏の、また、清水建^{しみず たけなり}成氏は社外監査役河野敬氏の、それぞれ補欠監査役であります。

平成22年6月29日現在における取締役および監査役は、次のとおりとなりました。

代表取締役社長	越川 雅生(昇任)
常務取締役	松尾 直樹(新任)
常務取締役	鈴木 讓
常務取締役	大内 正樹
取締役	村田 直光
取締役	木村 廣志(新任)
取締役	島田 知行(新任)
取締役	竹松 睦男(新任)
取締役(社外取締役)	畠山 俊也
取締役(社外取締役)	吉村 直樹
常勤監査役	福島 正之
監査役	島田 俊治
監査役(社外監査役)	河野 敬
監査役(社外監査役)	猪鼻 正彦

今後とも一層のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

以上



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました越川雅生でございます。今後はサクサグループのさらなる発展を目指して一層努力してまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

さて、ここに当社第7期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国の経済においては、世界的な金融危機の影響を受けた急速な景気悪化も底入れ感が出てきたとの見方が一部にはありますが、先行きには引き続き強い不透明感が残されております。

当企業グループの主力市場である情報通信ネットワーク関連市場においては、光ネットワークをはじめとしたブロードバンド化の進展に伴い、通信の主軸がこれまでの音声通話からデータ、画像通信へ移行することに対応して、商品自体もレガシー商品から新しい商品へ切替わってきております。さらに、多様化、高度化したネットワークを活用した様々な事業が生まれるなど大きな変化が続いております。

当企業グループにおいては、基幹事業の一つであるキーテレホンシステムの市場環境が大きく変化したことから売上高が

減少し、業績不振の要因の一つになりました。こうした市場変化を念頭におき、当企業グループは、「業績の早期回復」と「成長軌道への回帰」を目指し、中期経営戦略を策定し、「経営基盤の強化」と「事業の拡大」に取り組んでまいりました。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するため、要員の最適化などの経営改善施策を実施し、総原価の低減と付加価値の増大に取り組んでまいりました。また、グループ会社の統合や生産体制の集約、SE機能の強化を行うとともに、重点事業へ経営資源を集中してまいりました。

「事業の拡大」につきましては、ネットワークソリューション分野およびセキュリティソリューション分野において、音声、データに映像技術を融合させた商品を開発するとともに、マーケットインによりお客様が必要とする規模、性能および機能を満たしたソリューションの提供を目指してまいりました。その一環として、インターネットカメラシステムを活用した安心、安全、快適を実現するソリューションの提供を開始いたしました。

その結果、事業の転換による拡大の成果はまだまだ僅少ですが、経営基盤の強化により総原価を低減し、黒字を計上することができました。

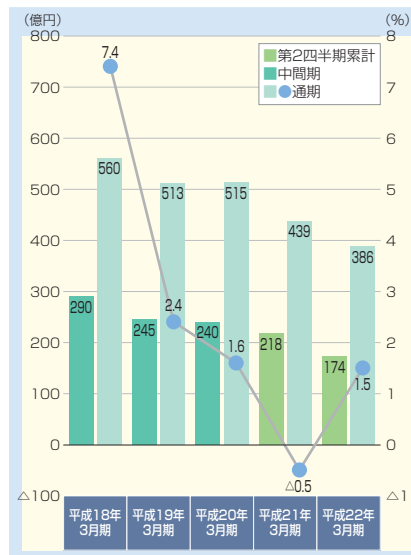
当連結会計年度の売上高は、市場の設備投資抑制などの影響もあり386億3千8百万円(前期比12.0%減)と減少いたしました。利益面では、総原価の低減などにより経常利益は5億9千1百万円(前期経常損失2億9百万円)と改善し、経営改善施策の実施に伴う特別損失の発生があり当期純利益は1億3千8百万円(前期純損失13億5千8百万円)となりました。

なお、当期の配当金につきましては、経営改善施策の実施による総原価の低減により、黒字を計上いたしましたが、売上高は減少しており安定した業績回復には至っておりません。このような状況から、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

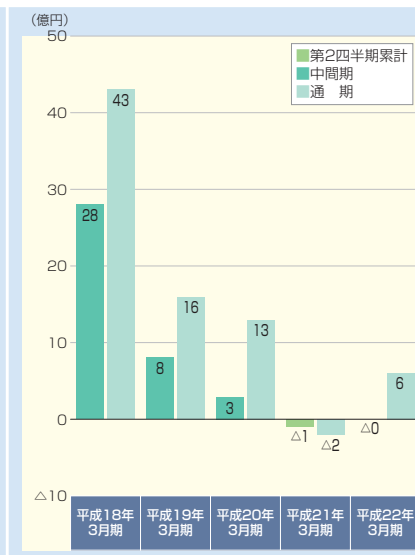
当社といたしましては、今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、株主の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

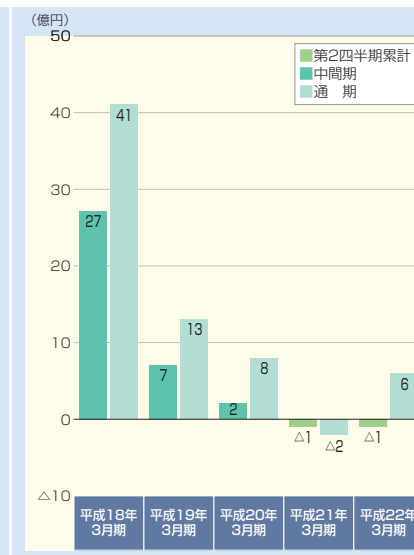
■売上高(左目盛) ●売上高経常利益率(右目盛)



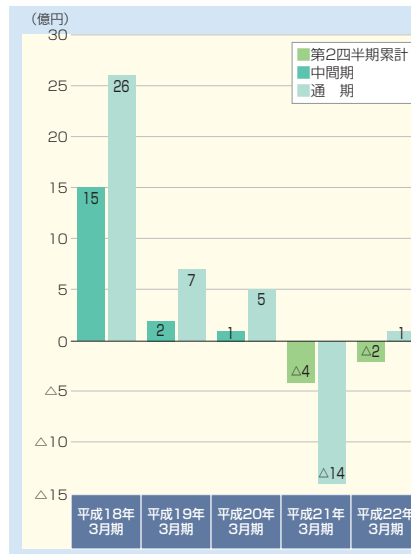
■営業利益



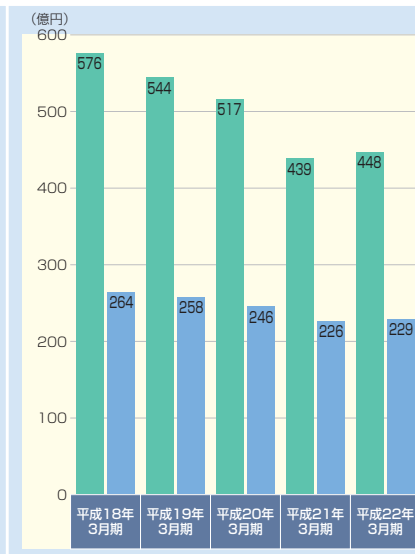
■経常利益



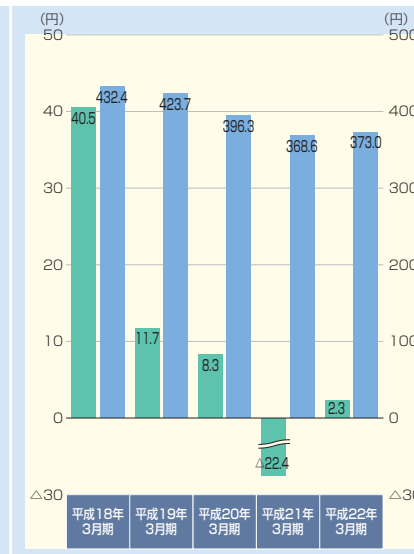
■当期純利益



■総資産 ■純資産



■1株当たり当期純利益(左目盛) ■1株当たり純資産(右目盛)



※1 グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

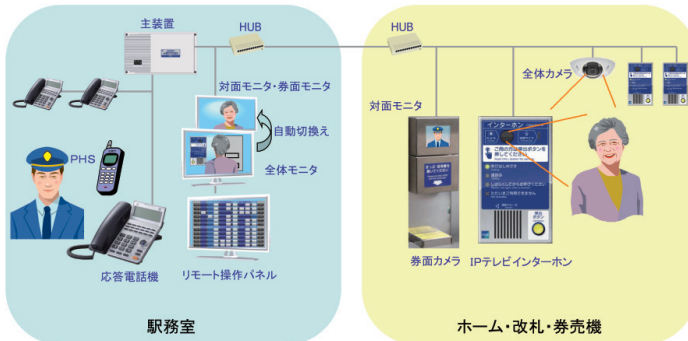
※2 平成21年3月期から金融商品取引法における四半期報告制度の導入により、第2四半期の売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益については第2四半期連結累計期間の数値を掲載しております。

鉄道事業者向けIPテレビインターホンシステム販売開始！～関東鉄道株式会社様、横浜新都市交通株式会社様などに導入～

サクサ株式会社は、鉄道事業者向けIPテレビインターホンシステムを開発し、平成22年2月から発売いたしました。このIPテレビインターホンシステムは、駅を利用するお客様からの問い合わせに対応するため、各駅のホームおよびコンコースにIPテレビインターホンシステムを設置し、お客様と管理駅の駅務室との間で通話できるシステムです。

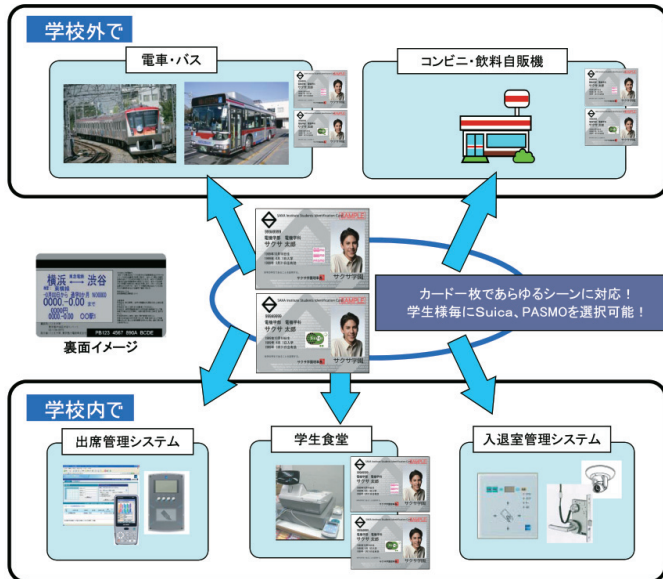
これまで各鉄道会社様では、アナログインターホンシステムを使用してお客様と会話していましたが、駅周辺の騒音や音質が悪いため、インターホンからの声が聞きづらいといった問題が起きていました。このIPテレビインターホンシステムは、音質上の問題を改善することに加え、お客様と駅員がお互いに顔を見て安心感を持って話ができるように対面モニターを取り入れたことで、鉄道会社様から高い評価をいただき、導入いただいています。

サクサ株式会社では、引き続きお客様サービス向上に取組む全国の鉄道会社様へ安心、安全、快適、便利を実現する、お客様のニーズに合わせた様々なソリューションを展開してまいります。



Suica付学生証(社員証)の販売およびシステムの提供を開始！～学生(社員)毎にSuica、PASMOを選択可能～

Suica、PASMO付学生証利用シーン



サクサ株式会社は、平成23年2月をめぐりにICカード学生証(社員証)に定期券等の交通乗車券機能を併せ持った「Suica付学生証(社員証)」の販売およびこれに対応するシステムの提供を予定しております。

サクサ株式会社は、平成22年3月から「PASMO付学生証(社員証)」の販売とシステムを提供しており、新たに「Suica付学生証(社員証)」が加わることで、ひとつの学校(企業)に、高機能でリーズナブルな両カードを円滑に学内(社内)システムに導入・運用を行うことができます。

- ※Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※JR東日本 Suica利用承認第11号(サクサ株式会社 許諾)
- ※当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。
- ※PASMOは、株式会社バスモの登録商標です。
- ※株式会社バスモ商標利用許諾済 第13号(サクサ株式会社 許諾)
- ※株式会社バスモ商標利用許諾済 第64号(東京急行電鉄株式会社 許諾)
- ※PASMOマーク および **PASMO** は株式会社バスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

連結財務諸表(要約)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成21年3月期)	当期末 (平成22年3月期)
(資産の部)		
流動資産	22,685	25,439
固定資産	21,159	19,324
有形固定資産	12,546	11,764
無形固定資産	5,524	4,402
投資その他の資産	3,088	3,156
繰延資産	30	49
資産合計	43,875	44,813
(負債の部)		
流動負債	13,461	11,663
固定負債	7,788	10,292
負債合計	21,250	21,956
(純資産の部)		
株主資本	22,690	22,827
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	6,610	6,749
自己株式	△1,088	△1,089
評価・換算差額等	△302	△175
少数株主持分	237	204
純資産合計	22,625	22,857
負債純資産合計	43,875	44,813

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成21年3月期)	当期 (平成22年3月期)
売上高	43,923	38,638
売上原価	32,140	26,892
売上総利益	11,782	11,746
販売費及び一般管理費	11,943	11,142
営業利益(△損失)	△161	603
営業外収益	498	477
営業外費用	546	489
経常利益(△損失)	△209	591
特別利益	7	93
特別損失	1,117	447
税金等調整前当期純利益(△損失)	△1,318	237
法人税、住民税及び事業税	48	69
法人税等調整額	△20	20
少数株主利益	11	9
当期純利益(△損失)	△1,358	138

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成21年3月期)	当期 (平成22年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,207	4,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,484	△904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,465	310
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	2
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	259	3,509
現金及び現金同等物の期首残高	4,856	5,116
現金及び現金同等物の期末残高	5,116	8,626

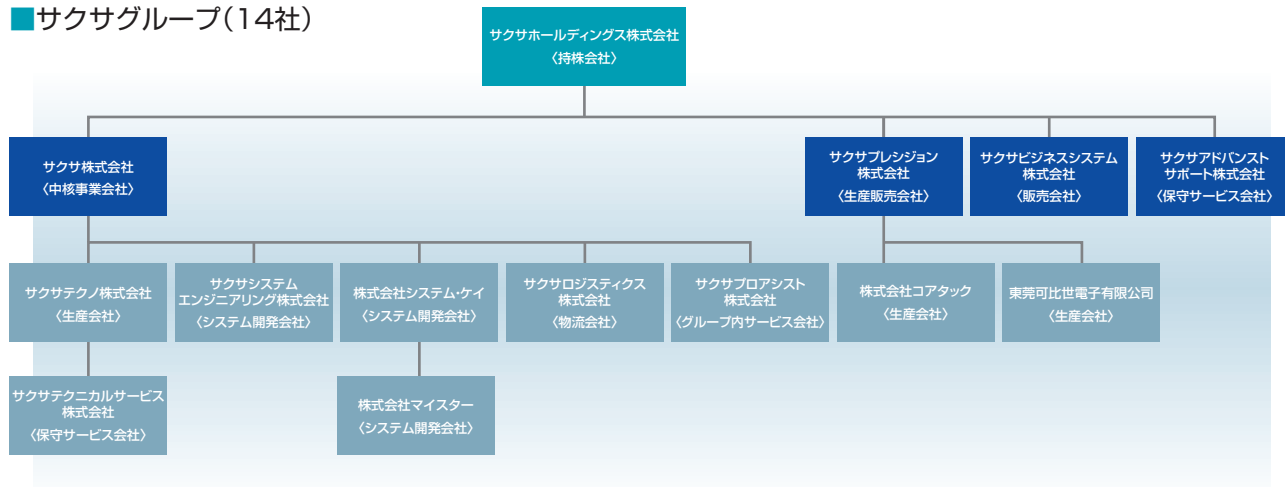
●連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	10,836	6,331	6,610	△1,088	22,690	△310	7	△302	237	22,625
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当										—
当期純利益			138		138					138
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						127		127	△32	94
連結会計年度中の変動額合計	—	—	138	△0	137	127	—	127	△32	231
平成22年3月31日残高	10,836	6,331	6,749	△1,089	22,827	△182	7	△175	204	22,857

※P5に記載の数値については百万円未満を切り捨てております。

■サクサグループ(14社)



■サクサ ホールディングス株式会社

設立年月日 平成16年2月2日
 資本金 10,836,678,400円
 従業員数 1,418名(連結)
 15名(単独)
 本 社 東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

●取締役および監査役(平成22年6月29日現在)

代表取締役社長 越川雅生	取締役 竹松睦男
常務取締役 松尾直樹	取締役 畠山俊也
常務取締役 鈴木 讓	取締役 吉村直樹
常務取締役 大内正樹	常勤監査役 福島正之
取締役 村田直光	監査役 島田俊治
取締役 木村廣志	監査役 河野 敬
取締役 島田知行	監査役 猪鼻正彦

※1. 畠山俊也および吉村直樹の2氏は、社外取締役であります。
 ※2. 河野敬および猪鼻正彦の2氏は、社外監査役であります。

■サクサ株式会社

設立年月日 平成16年4月1日
 資本金 10,700,000,000円
 従業員数 606名
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売ならびにこれらに付帯するサービスの提供

●取締役および監査役(平成22年6月24日現在)

代表取締役社長 越川雅生	取締役 島田知行
取締役 松尾直樹	取締役 竹松睦男
取締役 鈴木 讓	常勤監査役 島田俊治
取締役 大内正樹	監査役 福島正之
取締役 村田直光	監査役 河野 敬
取締役 木村廣志	

※河野敬氏は、社外監査役であります。

●執行役員(平成22年6月24日現在)

社長執行役員 越川雅生	執行役員 羽鳥勝彦
常務執行役員 松尾直樹	執行役員 伊藤訓明
常務執行役員 鈴木 讓	執行役員 石田 潤
常務執行役員 村田直光	執行役員 大坂 貢
常務執行役員 木村廣志	執行役員 中村耕児
常務執行役員 島田知行	執行役員 井上洋一
常務執行役員 竹松睦男	執行役員 曾我部敦
常務執行役員 皆川忠志	

株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 240,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 62,449,621株
- 株主数…………… 8,078名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	6,060千株	9.9%
日本電気株式会社	6,060千株	9.9%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,881千株	3.0%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	2.9%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.5%
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル キャップ パリュウ ポートフォリオ	958千株	1.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	952千株	1.5%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.4%
三井住友海上火災保険株式会社	773千株	1.2%

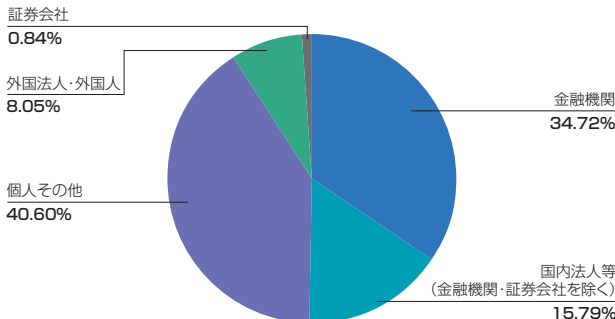
※ 1. 当社は自己株式を1,721,822株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

※ 2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

※ 3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059,800株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

※ 4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778,000株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。

公告掲載URL <http://www.saxa.co.jp/>
 ※当社の公告の方法は、電子公告としております。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-8507
東京都杉並区泉和二丁目8番4号

(電話照会先) (フリーダイヤル)0120-288-324

(専用ホームページ) <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

取扱店 みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

株式に関する各種お手続き、お届出およびご照会について

株式に関するお手続き(単元未満株式の買取請求、届出住所・姓名等の変更等)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、次のいずれかの窓口にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……みずほ信託銀行株式会社にご連絡ください。

